

R7.8.22～R8.3.31に届いた主な意見について



「子どもを産む＝結婚が必要」という認識を変え、パートナーがいなくても子どもを欲しいと思う人を支援する取組をすべきだと思う。

バスケットコートを増やしてほしい。
ネット予約できるようにしてほしい。

NIPT（出生前検査）を無償化してほしい。

既に子どもがいる世帯に対して、もう1人子どもを産む動機付けになるような制度などがあれば良いのでは。



支援クラスに通うみんなが楽しく授業を受けられるようにしてほしい。

回答

県では、地域全体で子育てを温かく応援する仕組みとして、おかやま子育て応援パスポート（ももっこカード）という取組を行っています。協力してくれるお店のご厚意により、子育て世帯向けに独自のサービスを提供するものです。子どもが3人以上いる世帯の方は、さらにおトクなサービスが受けられるお店もあります。

また、第3子以降の保育料のうち国制度で無償化されていない部分を無償化または軽減する市町村に対し、費用の一部を補助する事業も行っています。こうした子育てを応援する取組を通じて、子どもを持つなどの希望がかなう社会の実現を目指していきます。

回答

「特別な教育的支援が必要な生徒」の担任の先生のために作成した「高等学校における合理的配慮ガイドブック」の要点は、高校以外でも活用できるため、研修等において周知を図っています。

また、小・中学校等からの依頼に応じて、特別支援学校に所属している専門性の高い先生を派遣し、特別支援学級における指導・支援の方法などについて、学校からの相談に対応しています。

意見を送っていただきありがとうございました。
送っていただいた全ての意見に目を通し、参考にしています。
これからもどんどん意見を送ってくださいね。